

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」派遣事業 事前準備・プログラム中の活動・事後活動について

事業目的

日本と米国との間で、対外発信力を有し、かつ将来を担う人材を派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、また、日本の外交姿勢や魅力等について、本事業参加者から積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的としています。

(はじめに)ご理解・ご協力のお願い

プログラムは各交流・視察先の善意による受け入れのもと成り立ちます。また、政府機関とのスケジュール調整に時間を要するため、通常の海外旅行ツアーと異なり、アポイントまたは詳細情報が直前まで未確定となる場合があります。上記の事業目的を最大限達成するため、参加者の皆様にはカケハシ・プロジェクト派遣団としての使命を十分に理解し、事前準備・プログラム中・事後活動においてその役割を果たしていただきますよう、ご協力をお願いいたします。

以下の点をご承知おきください。

- 先方の都合等によりスケジュールが急遽変更となる可能性があります。
- ホームステイプログラムがある場合、ホストファミリー情報の提供はプログラム 1 週間前がめどとなります。また、やむを得ない理由により中止となる場合があります。
- 事前準備(プレゼンテーション準備等)に関して、参加者側の都合(定期試験、学校行事など)を考慮してのスケジュール組みはできません。短期間で多忙を極める準備となる可能性があることを念頭に、参加者の選定(語学力やリーダーシップを発揮できる人材を選抜する等)や、柔軟に対応できる体制作り(派遣団員間でコミュニケーションをとりやすくする等)をお願いいたします。
- 日本紹介プレゼンテーション・実演実施に関して、交流先に対する過度な要求は避けるようお願いいたします。(発表場所の写真の提供、使用する資材の準備依頼、機器の確認など)ゲストである現地の人々に対して、相手のリクエストに応える姿勢を持ち、どのようにして日本の魅力を伝えられるか、日本について良い印象を与えることができるかを考え、発信を行うことが重要となります。

I. 事前準備(渡航前)

1. 米国についての事前学習

米国での交流を円滑に進められるよう、米国の歴史、文化、政治、経済等について事前学習を行って下さい。派遣前に派遣団員間で調べたことを発表、共有し合い、理解を深めるため

の機会を設けて下さい。

2. 日本紹介プレゼンテーション・実演の準備

日本について発信するための事前準備として、日本についても詳しく知ることが重要となります。日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策、先端技術、在住地域の魅力等について調べ、理解を深めてください。

米国での学校交流時(その他の場でも発表の機会がある場合があります)、下記に基づきプレゼンテーションや実演形式にて発表を行ってください。事前に派遣団で発表内容・構成を検討し準備してください。**発表内容・構成等の案が決まり次第、ただちに JICE にお知らせください。(「別添 1 発表素案記入シート」をご提出ください。)**

(1) テーマ:

日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策、先端技術、在住地域の魅力等
米国では基本的な日本事情は既に多くの場所で浸透しているので、内容については事前調査を十分に行い検討してください。

◆ヒント◆ 一方向の発表ではなく、“Interactive”(双方向性のある)発表(クイズ、体験を含めるなど)が喜ばれます。

(2) 時間:

合計 30 分程度 (例: 2 つのテーマを用意する場合、1 つ 15 分程度)

但し、プログラム調整の段階あるいはプログラム中に、交流内容に従い時間が増減する場合があります。フレキシブルに対応できるように(時間を調節可能なように準備しておくなど)してください。

(3) 言語:

資料(パワーポイントスライド等)・発表共に英語

(交流先のニーズに合わせて日本語での発表をお願いする場合がありますが、その場合は別途ご連絡いたします。)

(4) その他

- **渡航 2 週間前までに発表データ(パワーポイント等)・原稿を JICE 担当者へ提出してください。発表内容の確認等を行うためです。**
- **より多くの機会を得て日本の魅力を発信するため、発表回数、対象者、人数、時間・場所については流動的です。柔軟に対応しうるもののご準備をお願いします。**
- **時間・場所等の制限により、準備した内容を全て発表できない可能性があります。ま**

た、交流先のリクエストや交流内容により、準備途中で発表内容の変更をお願いする場合があります。

- 発表時に使用するパソコンを持参してください。(Microsoft OS 以外はプロジェクターに接続できない場合がありますのでご注意ください。) パソコンとは別に、念のため、発表用データを USB メモリ等に保存して持参ください。また、必要な資材は派遣団側で用意してください。
- 持参する荷物が航空会社の無料手荷物規定を超えた場合の超過料金は自己負担となりますのでご注意ください。

3. 役割分担・ワークショップグループ決め

派遣前に、派遣団の役割(リーダー・サブリーダー・検温係・代表挨拶)及びプログラム終盤のワークショップでのグループを決めてください。また、派遣団により SNS やブログ等を開設した場合、URL をお知らせください。(「別添 2 事前確認事項記入シート」を派遣 2 週間前までにご提出ください。)

【注】上記の事前準備以外に、プログラム内容に合わせた準備をお願いする場合があります。

II. プログラム中の活動 (滞在中)

1. 米国での気づきを、毎日「気づきノート」に記録

ハンドブックにある「気づきノート」を活用し、毎日の振り返り作業を行ってください。米国での発見・新たに学んだこと等を書き留め、その背景や原因について考え、派遣団員間でシェアするよう引率者は積極的に促してください。この毎日の作業が、プログラム後半のワークショップをスムーズに行うため、非常に重要となります。

2. プログラム中の様子や日本の魅力を、英語を用いてSNS・ブログで発信

派遣国や世界に向けて、プログラムの様子や発表する日本の魅力、発表後の現地の人々の反応、交流時の写真・動画などを、SNS(Facebook、Twitter、Instagram等)やブログを活用し、英語で自由に発信して下さい。引率者は派遣団に積極的な発信を促してください。

3. ワークショップ(プログラム後半に実施)

①毎日の「気づきノート」を基に、プログラムを通しての気づき/学び/伝えたいことの共有とまとめ作業、②帰国後に実施する「事後活動計画(アクション・プラン)」の作成、③報告会(プログラム関係者へ①②を英語で報告)準備を行ってください。これらの作業を短時間(2~3時間程度)で行う必要があります。

◆ヒント◆

- 毎日の振り返り作業(気づきノート記入)を積み重ね、ワークショップに向けて準備する。
- ワークショップ中は引率者を中心にファシリテーションを行い、効率的に作業を進める。(ワークショップ時間を超えて夜通しの作業とならないよう、時間管理の徹底をお願いします。)
- 報告会では原稿に頼らず自分の言葉で話すことを心がける。パワーポイントを用いる場合は、簡潔に作成する。(例年、原稿やパワーポイントスライド作成に多くの時間を費やしてしまうグループが多いです。)

4. 報告会(プログラム最終日実施)

米国の日本国大使館・総領事館関係者、交流・視察先関係者、JICEまたは協力団体担当者等へ①プログラムに参加しての気づき/学び/伝えたいこと、②帰国後に実施する「事後活動計画(アクション・プラン)」について英語で発表してください。(合計30分目安)

Ⅲ. 事後活動(帰国後)

1. プログラム直後アンケートの提出(帰国後1週間以内※厳守！)

「別添3 プログラム直後アンケート」に回答(プログラムへのご意見や現地での発信回数・内容、感想文の記入など)していただき、帰国後1週間以内に引率者含む派遣団全員分を提出してください。(プログラム中に配付、回収する場合があります。)感想文は外務省への報告書及び JICE の WEB サイトに掲載される場合があります。

2. アクション・プランの作成及び提出(帰国後1週間以内※厳守！)

ワークショップで作成したアクション・プランの内容を、「別添4 アクション・プラン記入シート」にグループ毎に簡潔にまとめて帰国後1週間以内に提出してください。(ワークショップ中に配付、回収する場合があります。)また、報告会で使用したアクション・プランの発表媒体(パワーポイント等)を提出してください。

3. 対外発信の取り纏め及び提出(帰国後1週間以内※厳守！)

プログラム中の派遣団による SNS・ブログ等での発信を取り纏め、「別添5 対外発信事例記入シート」に記入し帰国後1週間以内に提出してください。(帰国後電子データ(ワードファイル)をメールで送付してください。)発信事例は外務省への報告書及び JICE の WEB サイトに掲載される場合があります。

4. アクション・プランの実施及び報告(※必須！帰国後原則3か月以内)

プログラム中もしくは帰国後に作成したアクション・プランに基づき、帰国後(原則3か月以内)に事後活動を行ってください。実施後、「別添6 アクション・プラン実施報告書」を作成し、原則3か月以内に提出してください。実施報告書は外務省へ提出すると共に、JICEのWEBサイトに掲載される場合があります。3か月以内の実施が困難な場合(中・長期的計画で実現には期間を要するもの)には、その理由と実施見込み時期について、帰国後3か月以内にJICEに報告してください。

5. 3か月後アンケートへの回答(※必須)

帰国約3か月後に、JICEよりアンケート回答用のURLを各参加者のメールアドレスに送付しますので、期間内に必ず回答してください。回答がない場合、引率者は各参加者に回答を促してください。

上記提出書類は、引率者もしくは派遣団代表者で集約し、JICEの担当者にご提出をお願いいたします。これらの提出書類をもとに、JICEは外務省に対して派遣団の成果報告を行います。書類の提出がない場合、派遣事業の成果をはかることができず、事業継続の判断に影響を及ぼしかねませんので、何卒ご協力をお願いいたします。

事前準備・プログラム中の活動・事後活動は、全て参加者必須課題となります。

以上

別添1 発表素案記入シート

別添2 事前確認事項記入シート

別添3 プログラム直後アンケート

別添4 アクション・プラン記入シート

別添5 対外発信事例記入シート

別添6 アクション・プラン実施報告書